

## 事前評価表

| 事業名                | 森林環境保全整備事業（国有林）   | 事業計画期間        | 平成31年度～平成35年度（5年間）   |      |      |          |  |      |           |      |      |         |  |      |        |
|--------------------|---|---------------|--|------|------|----------|--|------|-----------|------|------|---------|--|------|--------|
| 事業実施地区名<br>（都道府県名） | （とちかち）<br>十勝森林計画区<br>（北海道）  | 事業実施主体        | 北海道森林管理局<br>とちかちとうぶ<br>十勝東部森林管理署<br>とちかちせいぶ<br>十勝西部森林管理署<br>ひがしだいせつ<br>十勝西部森林管理署 東大雪支署 |      |      |          |  |      |           |      |      |         |  |      |        |
| 事業の概要・目的           | <p>本計画区は、北海道の南東部に位置し、全国森林計画で定める十勝・釧路川広域流域のうち十勝総合振興局管内の1市12町2村で構成されている。</p> <p>対象とする国有林面積は約419千haであり、森林の86%がトドマツ、エゾマツにミズナラ、シナノキ、カンバ類等が混交する針広混交林等の天然林で占められ、残りの14%がトドマツ、アカエゾマツ、カラマツ等の人工林で、このうち間伐の対象となる林分が約8割となっている。今後は主伐対象となる林分も増え、併せて更新面積の増加が見込まれることから、森林整備の重要性が高くなっている。</p> <p>十勝川に代表される水系は、本流域の基幹産業である農業をはじめ、水力発電及び地域住民の生活用水等として利用されるとともに、これらの河川が注ぐ沿岸部は寒暖2海流が交錯する好漁場であり、これらの水系の上流部に広く所在している国有林は、流域内の水源林として重要な役割を担っている。</p> <p>また、この地域は民有林も含め道内の主要な木材生産地帯であり、製材生産量及びチップ生産量はそれぞれ道内生産量の25%を占めており、今後も木材の安定供給を通じ、地域産業の振興に寄与することが期待されている。</p> <p>一方、日高山脈森林生態系保護地域、大雪山森林生態系保護地域等の保護林や、十勝川源流部原生自然環境保全地域など、学術的に貴重な森林も多く、大雪山国立公園、阿寒摩周国立公園及び日高山脈襟裳国定公園に指定された国有林は、山岳、溪谷、森林景観、温泉等の観光資源に恵まれていることから、広大な十勝平野の田園風景と併せて、観光地や登山、スキーなど森林を利用したレクリエーションや保健休養の場として、道内外から多くの観光客が訪れている。</p> <p>本事業は、これまでの評価結果を踏まえ、地域の期待に応えるとともに、伐採と造林の一貫作業や植付効率の向上等の効果が期待されるコンテナ苗の導入等を図り、低コストで効率的な作業システムを確立しながら、地球温暖化防止にも積極的に寄与するために必要な植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施する。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>4,567 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>42,128 ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>27.4 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>1.5 km</td> </tr> </table> <p>総事業費 12,818,086 千円（税抜き 11,868,599千円）</p> |               |  | 森林整備 | 更新面積 | 4,567 ha |  | 保育面積 | 42,128 ha | 路網整備 | 開設延長 | 27.4 km |  | 改良延長 | 1.5 km |
| 森林整備               | 更新面積  | 4,567 ha      |  |      |      |          |  |      |           |      |      |         |  |      |        |
|                    | 保育面積  | 42,128 ha     |  |      |      |          |  |      |           |      |      |         |  |      |        |
| 路網整備               | 開設延長  | 27.4 km       |  |      |      |          |  |      |           |      |      |         |  |      |        |
|                    | 改良延長  | 1.5 km        |  |      |      |          |  |      |           |      |      |         |  |      |        |
| 費用便益分析             | 総便益（B）  | 65,337,833 千円 |  |      |      |          |  |      |           |      |      |         |  |      |        |
|                    | 総費用（C）  | 18,456,039 千円 |  |      |      |          |  |      |           |      |      |         |  |      |        |
|                    | 分析結果（B/C）   | 3.54          |  |      |      |          |  |      |           |      |      |         |  |      |        |

|                               |  |
|-------------------------------|--|
| <p>森林管理局事業評価<br/>技術検討会の意見</p> | <p>事業の必要性、効率性、有効性が認められることから、本事業を実施することが妥当であると考える。</p>  |
| <p>評価結果</p>                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 本地域は、大半が水源かん養保安林に指定されており、地域の水源地としての役割や、地域の基幹産業である農業や沿岸・沖合漁業が盛んな太平洋側の漁場の保全等に資する観点から、水源涵養の役割を果たすことが期待されている。また、火山や急峻な地形もあることから、山地保全の役割が求められている地域であり、更には、地球温暖化防止対策や木材の安定供給のほか、保健文化機能の維持等に寄与する観点からも事業の必要性が認められる。</li> <li>・効率性： 現地の地形・地質状況に適した工種及び作業仕様での路網の開設・改良によって森林整備実施箇所へのアクセスを向上させ、森林整備においても現地状況に応じた更新・保育作業を効率的に行うことによりコストの増加を抑えていくこととしており、費用便益分析の結果からも、事業の効率性が認められる。</li> <li>・有効性： 本事業により、森林が健全な状態に維持され、水源涵養、山地保全、地球温暖化防止等の公益的機能の発揮が期待される。また、効率的な森林整備により、地域の基幹産業である農業や漁業の振興にも資することから、事業の有効性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用便益分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源涵養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p> |

**便 益 集 計 表**  
(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業  
施行箇所：十勝森林計画区

都道府県名：北海道  
(単位:千円)

| 大 区 分                 | 中 区 分                                      | 評 価 額      | 備 考    |
|-----------------------|--|------------|--------|
| 水源涵養 <sup>かん</sup> 便益 | 洪水防止便益                                     | 17,538,398 |        |
|                       | 流域貯水便益                                     | 4,480,009  |        |
|                       | 水質浄化便益                                     | 9,840,560  |        |
| 山地保全便益                | 土砂流出防止便益                                   | 25,085,220 |        |
| 環境保全便益                | 炭素固定便益                                     | 4,838,565  |        |
| 木材生産等便益               | 木材生産等経費縮減便益                                | 432,710    |        |
|                       | 木材利用増進便益                                   | 919,540    |        |
|                       | 木材生産確保・増進便益                                | 1,778,578  |        |
| 森林整備経費縮減等便益           | 造林作業経費縮減便益                                 | 1,167      |        |
|                       | 森林管理等経費縮減便益                                | 58,661     |        |
|                       | 森林整備促進便益                                   | 364,425    |        |
| 総 便 益 (B)             |  | 65,337,833 |        |
| 総 費 用 (C)             |  | 18,456,039 | 千円     |
| 費用便益比                 | $B \div C = \frac{65,337,833}{18,456,039}$ |            | = 3.54 |

